



イマジン ローター

起承転結

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588



会長 入中英雄

環境月間

第 3328 回例会	No35	2023. 04. 19	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「我ら日本のロータリアン」	
四 つ の テ ス ト	石灘寛樹 君		
ゲ ス ト	黒武者和浩氏 (鹿児島銀行日南支店長) 花盛和也氏 (宮崎福祉医療カレッジ校長)		
例 会 行 事	PETS 報告		

会長時間

イマジンロータリー

この間まで咲いていた桜は葉桜となり、学校も新入生を迎えてかになってきたことでしょう。過ごしやすい季節がやってまいりました。

さて、先日 4 月 15 日に岸田首相襲撃事件が起きました。去年の安倍元総理襲撃事件から 1 年もたないうちに、またもや衝撃的な事件が起きました。選挙の応援演説のために訪れていた和歌山県での爆発物が投げ込まれました。今回は岸田首相にけがはありませんでした。現職の総理大臣襲撃に加えて周囲にいた地元漁師の男性の協力も話題になりました。昨年悲劇が教訓となったことは言うまでもありません。今後、このような事件が再び起こらないように願いたいものです

本日 4 月 19 日は地図の日だそうです。西暦 1800 年のこの日伊能忠敬が蝦夷地の測量に出発した日です。伊能忠敬は、江戸時代、日本全国を測量して歩きわが国最初の実測日本地図を作り上げました。忠敬が全国測量を始めた当時の天文学では、日食や月食がいつ起こるか予測できない問題があり、これを解決するには緯度 1 度の距離を測り地球の大きさを確定することが必要でした。おりしも蝦夷地近海にロシア船がたびたび来航するようになり、幕府は国防の為に正確な地図が必要だと考えていたようです。忠敬の師匠は、地図作りをしながら同時に各地の緯度を調べ、緯度 1 度の距離を算定しようと考え、蝦夷地までの測量と地図作りを幕府に願い出ました。その担当者として推薦したのが弟子の忠敬で、全国測量の始まりとなりました。

自宅から蝦夷地へ向けて出発した忠敬は当時 55 歳だったそうで、私が今 56 歳ですので 1 年前に地図を作る旅に出たのだと思うと、あの当時だと年齢がいったからの旅立ちではなかったのかと思います。

伊能忠敬は 16 年にわたって測量をして歩き続けたそうです。測量とは地球表面にあるその相対的な位置関係を損なわずに適切な縮尺を持って図に表すことです。基本的な事は距離、角度を測る事です。

地図を作るのに昼間は交代で歩数を数え、曲がり角では方位を測って、夜は宿舎の庭に据えて星の高度を測って蝦夷地測量は行われていたようです。第一次の蝦夷地測量の方法とは当時の測量器具とは呼ばれる一間ごとに印をつけた縄と距離を書き留める和紙、そして方位を観測するための天体観測器具です。現在は GPS を使用した測量機器やドローンを使用した機器が測量産業の機器となっているようです。建築では GPS やドローンを使用するようなことはあまりないと思います。私たち建築業は十数年前までは 3:4:5 の比率で三角形に組み合わせ定規を作り 90 度を出していました。今でもやっている方を見ることがあります。今では建物の位置を決めるためにトランシットという機械で角度を出して光波という機能で距離を測定して位置を決めていきます。光波というのは基準点から目標点までにレーザー光を照射して距離を計測するものです。このクラブで一番測量に詳しいのは落丸君ですが、私もこの光波という測量機器を使い、六角形の建物や、八角形、16 角形の建物を作ることができるようになりました。この機械がない頃はおそらく原寸図とかを書いて施工されたの

ではないかと思えます。

測量から少し話が外れましたが、江戸時代日本人が自国の正確な形を知ったのは、伊能忠敬らが作り上げたによってであったようです。この地図の精度は既存の地図をする正確なものであったそうです。今でこそデジタルマップとかヤフー地図などがありますが、30年ほど前までは地図を見ているところへ出かけられた方々がほとんどではないでしょうか。近年のすさまじい発展には驚かされ、便利の良い世の中になりました。これもルーツは伊能忠敬のおかげなのではないでしょうか。

## 幹事報告

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま 277号」が届いております。
2. ロータリーファミリー・ホームカミング・デーのご案内が届いております。
3. ロータリー東日本大震災支援連絡協議会より、「風の便り」が届いております。

## 委員会報告

次年度幹事 5/14(日) 地区研修・協議会参加要請の件

## スマイル

築瀬 敦君 グループラインに間違えて、変なものを送信してしまいました。スマイルをしますので削除していただき、この件について追及せずにして頂きますようお願いいたします。

## 例会行事

### PETS 報告 黒岩久登エレクト



今日は先日開催された会長エレクト研修セミナーについての報告と感じた事をお話します。まず日時は3月11日土曜日、東日本大震災の発生した日の10時に点鐘で始まりました。

参加者は総勢120人強。会場は宮崎観光ホテル3階です。私達会長エレクトは会場の真ん中に座られ左側に次期ガバナー補佐が座り、右側にはパストガバナーという布陣です。後方には宮崎ロータリークラブの段取り係が陣取っています。定時の30分前には着席し資料に目を通します。1月にクラブ活性化セミナーに出ていましたので大体似通った内容かなと思っていたところ後ろの段取りかかりの人のあたりから、“それは日南ロータリーの黒岩さんだから”という声が聞こえてきて一気に気分が滅入りました。たぶん最後の小委員会の発表者に当たってるんだなどの解釈です。分科会の時はちゃんと内容を記録しておかないといかんなど少しやる気ができます。

ふと気がつく私と私の右隣だけが全体の中でたった一つの空席です。“中央ロータリーの坂本さんか”と思いますがあまり面識はありません。たしか中央の会長の坂本さんの息子で押川ガバナーが公式訪問で来られた時にジャージかなんかでメーキャップしに来てみんなを怒らせた人だと思います。さらにその右隣は串間の英先生です。名刺交換をすると、会長は2回目か3回目との事。思わず“何回したか覚えてないのですか”と突っ込みたくなりましたが初対面なのでひとまず我慢し、”娘さんが似顔絵入りで病院の大きな看板出されてますね”と言うと大きな看板すぎると相手を崩されてました。感じのいい紳士でした。左側の席は都城のeクラブの吉永さんという女性でした。デリー牛乳にお勤めでローターアクト出身という方でした。非常に聡明な女性の印象です。

さて、プログラムの方は出席者紹介、ガバナー挨拶、次年度RIテーマ及び地区方針についてと進みます。ちなみに2023～2024年度第2730地区基本方針は「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」です。

また、ゴードン マッキナリー国際ロータリー会長エレクトの会長年度のテーマはCreate Hope In The World “世界に希望を生み出そう”で、クラブに、2730地区に、世界に、そして自分自身の中に実現するよう全てのロータリアンが努力しましょうという活動計画が発表されました。

具体的には1. ロータリーの継続と変化 2. メンタルヘルスへの取り組みです。

1. の継続と変化については5つのテーマが示されています。まず一つ目はローターアクトクラブとの協体制の強化です。現在ローターアクトクラブによる素晴らしい活動が世界の各地から報告されており、地区内のローターアクトの活動に対して奉仕プロジェクト部門・ローターアクト委員会を中心に積極的に協力していきましょうというものです。二つ目は女兒のエンパワーメントです。シェカールメータ会長年度に掲げられた活動ですが、女兒が持っている限りない能力を最大限に伸ばすため、教育環境や社

会制度の整備に努めましょうということです。これも奉仕プロジェクト部門・インタラクティブ委員会を中心に、新たな展開を期待するとの事です。三つ目はDEIの推進です。ジェニファー ジョーンズ会長によって広められたDEIの心をロータリー活動のあらゆる場面で応用し、多様性に富むクラブ組織の基盤作りに努力しましょうというもので、DEI委員会を主体に地区での考え方の深掘りと周知を期待するとの事です。四つ目はポリオ根絶です。ロータリーが世界に誇る行動です。子供たちを脅かすポリオ根絶を続けていきましょう。例年に引き続き財団部門・ポリオプラス・ロータリーカード委員会で計画を進めていただきたいとの事です。最後の五つ目はロータリーの行動計画を実践するという事です。クラブや地区の中で実現でき、その良い結果を続けられる行動計画を立てましょう。具体的にはクラブ独自の計画の他に、米山記念奨学への寄付の推進、青少年育成の計画、公共イメージの向上、クラブ奉仕の強化、社会奉仕の実践などの活動をもう一度見直して強化しましょう。そしてロータリー賞への積極的なチャレンジです。クラブ管理運営委員会を中心に全部門で考えてもらいたいとの事です。

2番目のメンタルヘルスへの取り組みについてはゴードン マッキナリー会長エレクトがロータリーに初めて示された行動で“希望を生み出す原点です”と述べられています。メンタルヘルスに対する自分自身や社会の偏見をなくし、同僚や親しい人に何か異変を感じたら、精神的な支援の手を差し伸べる勇気をロータリアン一人一人が持ち合わせる事が大切でとの事でした。

本日の最大のテーマである“会長の役割と責務とは？”の話では大前提として“ロータリークラブとはいったい何か？会長の立場からあらためて俯瞰する事で、役割と責務の道筋が見えてくるだろうとの事でした。

アプローチは居心地の良いクラブ作りとし、快適さと配慮をもって会員の参加を促す事が大切になるといってお話をされました。またロータリーはクラブであり趣旨に賛同する会員で運営され会員は相互に平等とされる。クラブは楽しくあってクラブであるという事で厳しいクラブ運営は禁物であるという事です。

具体的な責務としては50項目以上ありますので、ここでは割愛させていただきます。分科会までに20人ほどの講師がおはなされました。

その後の分科会ではMember Experience 会員としての経験というテーマで、1、例会に行く楽しみがある。2、リーダーや先輩から信頼されている。3、自分が成長していると感じられる。4、よい人間関係を築ける。5、地域社会や世界にとって有意義な奉仕ができています。の五つの経験ができていた事によって会員増強、基盤強化につながるストーリーテリングが大切と会の前にテーマの説明があり、その後各グループに分かれてのディスカッションが開催されました。

私のグループは南部グループと西部グループとの混成チームでした。話の中心はローターアクトとインタラクティブとの関係で、会員増強にはローターアクトOB、OGから組織したらとか、ローターアクトのその後のフォローができていない、ローターアクト出身の方からは、ロータリーに対し何をしたいかわからないという話でもありました。どこのクラブも会員増強には苦労されているようです。

分科会も終わり、最後の各グループからの発表です。やっぱり当てられるかなと待っていますと、左の席の吉永さんが呼ばれました。危ないところでした。同じ机からはもう氏名はないなと余裕でいると、“串間の英さん”と指名があり驚いていると、本人はさらにびっくりされて、“私のテーブルからはすでに指名されているから、私はもういいでしょう”拒否されました。今度は司会がびっくりして、発表を拒否されましたと苦笑いしていました。はいかイエスしかないはずのロータリーの世界にあって、新鮮な思いがしました。

会も閉会が近づき期待の言葉という修了証書授与の 時間です。まず奄美大島から参加の女性が呼ばれ、遠いところわざわざお疲れ様等と思っていると、次は日南ロータリークラブ黒岩さんと呼ばれました。何？とは思いましたが、壇上で池之上ガバナーエレクトと会話し握手をすると、なんとも言えない気持ちになります。最初に聞こえた日南の黒岩という言葉はこの段取りの件だったのだなと理解できました。後日わかったのですが、当クラブの竹井君が宮崎ロータリークラブの次期地区幹事の方に黒岩をよろしく頼むと言われていたとの事でした。お気遣いありがとうございました。

私の年度は70周年の記念事業もありなかなか大変だと思いますが、井野畑幹事さんと竹井周年事業実行委員長さん、さらに会員の皆様のお力をお借りしまして運営していきたいと考えておりますので、何卒お力添え宜しく願い申し上げます。

## 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	27	6	21	18	0	3	18	85.71%
出席免除	鬼束、甲斐、小玉、清水、古澤、渡邊							
先取MU	なし							
欠 席	榎木田、齋藤(奈)、村社							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：入中英雄 副会長：黒岩久登 幹事：斉藤篤史 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、[ocame@wing.ocn.ne.jp](mailto:ocame@wing.ocn.ne.jp)まで送信してください。